

GrimForge

グリムフォージ

遊び方説明書



GrimForgeについて

夜月がもっとペカペカと輝いていた、いつか昔の話。どんな願いも叶えることのできる希望の花「グリムフラワー」がありました。今夜はその花が咲く、千年に一度の祝福された祭の夜。いつかどこかの物語の英雄たちの力を借りて、他の参加者たちとの争奪戦に勝利し、希望の花の力で願いを叶えましょう！

ゲームの勝利条件

7ラウンド終了時に、最も多くの「グリムフラワー」を持っていたプレイヤー（同数の場合は複数人）の勝利

内容物



「触媒カード」(28枚、全4種)

英雄を呼び出す際に必要となる、魔法のアイテムが書かれたカードです。

赤、緑、青、紫の4属性があります。



「英雄カード」(28枚、全28種)

他のプレイヤーから「グリムフラワー」を奪うために召喚する、英雄が書かれたカードです。

赤、緑、青、紫の4属性があります。

「強者の証」(1個)

最も力のある者の元を渡り歩く、不思議なアイテムです。

ラウンド毎に、これを持っているプレイヤーから手番を始めます。

色や形は様々です。



「グリムフラワー」(30個)

千年に一度だけ咲くとされる、願いを叶えることのできる希望の花です。

色による価値の違いはありません。



※パッケージ裏の「内容物」と一部内容が異なりますが、ここに書かれている内容物が正しいものとなります。

カードの見方 (触媒カード)

<属性>

属性は4つあり、それぞれ以下の通りになっています。



カードの名前

フレーバーテキスト

カードの見方 (英雄カード)

<召喚コスト>

召喚に必要な「触媒カード」のコストです。

例) この場合、緑2枚+青1枚の触媒カードが必要となります。



カードの名前

フレーバーテキスト

<効果>

召喚に成功した際に発動する争奪の効果です。

詳しくは「4・争奪フェイズ」で説明します。

0・ゲームの前準備

(1) 参加プレイヤーの人数に合わせて必要なカードを準備します。

3人で遊ぶ場合

「触媒カード」「英雄カード」共に紫のカード(各7枚ずつ)を全て取り除きます。

4人で遊ぶ場合

全てのカードを使用します。

- 各プレイヤーにグリムフラワーを5個ずつ配ります。※色による違いはありません
- 触媒カードを色ごとに、裏向きの状態でテーブルの中央に置きます。
- 参加プレイヤーは各々、心の中で叶いたい願いを唱えましょう。(口に出しても構いません)
このゲームの勝者は、心に決めた願いを叶えることができると言われています。
- 参加プレイヤーの中で、最も力の強い人を1ラウンド目のスタートプレイヤーに任命します。腕相撲を始めても構いませんし、じゃんけんなどで決めても構いません。
スタートプレイヤーになったプレイヤーは「強者の証」を受け取り、手元に置きます。

1・ゲームの流れ

ゲームは「ドラフトフェイズ」で手札を決めた後、「召喚フェイズ」→「争奪フェイズ」を1ラウンドとし、7ラウンドこれを繰り返し、勝者を決定します。



2・ドラフトフェイズ

自分の手札を決める

これから行われるゲームで使用する自分の手札を決めるフェイズです。

- (1) 「英雄カード」を裏向きにまとめ、よく切ったあと、各プレイヤーに7枚ずつ配ります。
- (2) 各プレイヤーは、配られたカードの表を見て、その中から1枚を選び、自分のカード(手札)とします。
- (3) 選ばなかった残りのカードは、他のプレイヤーに見えないように裏向きにして左隣のプレイヤーに渡します。
- (4) 右隣のプレイヤーから渡ってきたカードの表を見て、その中から1枚を選び、自分のカード(手札)とします。

以降、(3)と(4)を繰り返し、左隣に渡すカードがなくなったらドラフトフェイズを終了します。

※自分に配られた、または渡ってきたカードの表や、手札の表は、他のプレイヤーに見せてはいけません

3・召喚フェイズ

グリムフラワーの争奪のために英雄を召喚する

触媒を獲得し、その触媒に足りる英雄を召喚します。

召喚された英雄は、次の争奪フェイズで他のプレイヤーからグリムフラワーを奪ってきます。

スタートプレイヤーから時計回りに以下の行動(<1>→<2>)を行います。

<1> 触媒の獲得

テーブル中央の「触媒カード」から、好きなものを1枚選び自分の触媒とします。

獲得し、自分のものとなった「触媒カード」は表向きにし、手元に置きます。



<2> 召喚

手札から好きな「英雄カード」を裏向きでテーブルに出します。

この時、「英雄カード」の召喚コストに自分の「触媒カード」が足りていない場合は、召喚失敗となります。

※召喚に失敗した「英雄カード」は、争奪フェイズの時に召喚されず、手札に戻ります。

「英雄カード」を出す時は、自分以外のいずれかのプレイヤーを指すように置きます。



全てのプレイヤーが「英雄カード」を出し終えたら、争奪フェイズに移ります。

4・争奪フェイズ

召喚された英雄がグリムフラワーを奪い合うフェイズ

各プレイヤーは、召喚フェイズで裏向きに出した「英雄カード」を一齐に表向きにします。

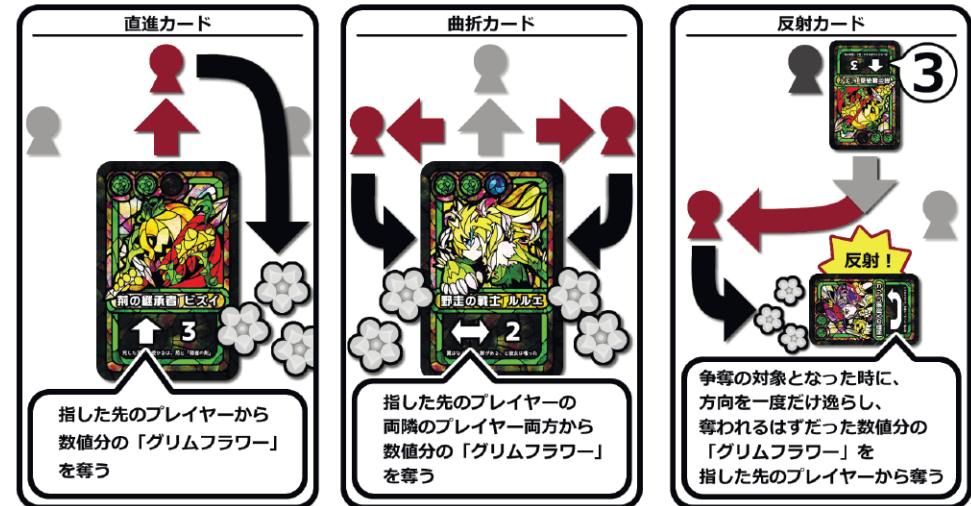
※この時、「英雄カード」のコストに自分の「触媒カード」が足りていなければ召喚失敗とし、手札に戻します。その後、スタートプレイヤーから時計回りに争奪処理を行います。

争奪処理

「英雄カード」の矢印が指した先のプレイヤーから、書かれている数字の数だけグリムフラワーを奪います。

反射カード(Uターンの矢印)のみ処理が特殊で、これは他のプレイヤーの争奪の対象となった時に処理を行います。

※対象のプレイヤーの「グリムフラワー」がない場合は、それ以上奪うことはできません。



全てのプレイヤーの争奪処理が終わったら、使った「英雄カード」を捨て札とし、次のラウンドに移ります。

5・次のラウンドへ

次のラウンドへ移る前に、次のラウンドのスタートプレイヤーを決定します。

争奪フェイズの終了時点で最も多くのグリムフラワーを持っているプレイヤーが、「強者の証」を受け取り、次のラウンドのスタートプレイヤーとなります。

※対象プレイヤーが複数人いる場合は、現時点でのスタートプレイヤーが、対象となるプレイヤーの中から1人選び、「強者の証」を渡します。(この時は必ず自分以外を選んでください)

6・勝者決定

ラウンドを7回繰り返し(「触媒カード」がテーブル中央からなくなるラウンドが7ラウンド目です)、最も多くのグリムフラワーを持っていたプレイヤー(同数の場合は複数人)が勝者となります。

勝者はきっと、心に決めた願いが叶うことでしょう!

